

[1] 次の関数の増減を調べよ。

(1) $y = x - 2\sqrt{x}$

(2) $y = \frac{x^3}{x-2}$

(3) $y = 2x - \log x$

[2] 次の関数の極値を求めよ。

(1) $y = xe^{-x}$

(2) $y = \frac{3x-1}{x^3+1}$

(3) $y = \frac{x+1}{x^2+x+1}$

(4) $y = (1 - \sin x)\cos x \quad (0 \leq x \leq 2\pi)$

(5) $y = |x|\sqrt{4-x}$

(6) $y = (x+2) \cdot \sqrt[3]{x^2}$

[3] 関数 $f(x) = \frac{e^{kx}}{x^2+1}$ (k は定数) について

- (1) $f(x)$ が $x = -2$ で極値をとるとき, k の値を求めよ。
- (2) $f(x)$ が極値をもつとき, k のとりうる値の範囲を求めよ。

④ 関数 $f(x) = \frac{ax^2 + bx + c}{x^2 + 2}$ は $x = -2$ で極小値 $\frac{1}{2}$, $x = 1$ で極大値 2 をとる。このとき、定数 a, b, c の値を求めよ。

5 次の関数の最大値，最小値を求めよ。(1)，(2)では $0 \leq x \leq 2\pi$ とする。

(1) $y = \sin 2x + 2\sin x$

(2) $y = \sin x + (1 - x)\cos x$

$$(3) \quad y = x + \sqrt{1 - 4x^2}$$

$$(4) \quad y = (x^2 - 1)e^x \quad (-1 \leq x \leq 2)$$

6 次の関数に最大値，最小値があれば，それを求めよ。

$$(1) \quad y = \frac{x^2 - 3x}{x^2 + 3}$$

$$(2) \quad y = e^{-x} + x - 1$$

7 関数 $f(x) = \frac{a \sin x}{\cos x + 2}$ ($0 \leq x \leq \pi$) の最大値が $\sqrt{3}$ となるように定数 a の値を定めよ。

8 関数 $f(x) = \frac{x+a}{x^2+1}$ ($a > 0$) について、次のものを求めよ。

- (1) $f'(x) = 0$ となる x の値
- (2) (1) で求めた x の値を α, β ($\alpha < \beta$) とするとき、 β と 1 の大小関係
- (3) $0 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の最大値が 1 であるとき、 a の値

9 3 点 O (0, 0), A $\left(\frac{1}{2}, 0\right)$, P ($\cos \theta, \sin \theta$) と点 Q が、条件 $OQ = AQ = PQ$ を満たす。

- ただし、 $0 < \theta < \pi$ とする。
- (1) 点 Q の座標を求めよ。
 - (2) 点 Q の y 座標の最小値とそのときの θ の値を求めよ。

10 半径 1 の球に，側面と底面で外接する直円錐を考える。この直円錐の体積が最小となる
とき，底面の半径と高さの比を求めよ。

1 次の関数の増減を調べよ。

(1) $y=x-2\sqrt{x}$ (2) $y=\frac{x^3}{x-2}$ (3) $y=2x-\log x$

解答 (1) $0\leq x\leq 1$ で単調に減少し、 $1\leq x$ で単調に増加する
(2) $x<2$, $2<x\leq 3$ で単調に減少し、 $3\leq x$ で単調に増加する
(3) $0<x\leq \frac{1}{2}$ で単調に減少し、 $\frac{1}{2}\leq x$ で単調に増加する

解説

(1) 定義域は $x\geq 0$ である。

$$y'=1-2\cdot\frac{1}{2\sqrt{x}}=\frac{\sqrt{x}-1}{\sqrt{x}}$$

$y'=0$ とすると $x=1$

よって、 y の増減表は右ようになる。

したがって、

$0\leq x\leq 1$ で単調に減少し、 $1\leq x$ で単調に増加する。

(2) 定義域は $x\neq 2$ である。

$$y'=\frac{3x^2(x-2)-x^3\cdot 1}{(x-2)^2}=\frac{2x^2(x-3)}{(x-2)^2}$$

$y'=0$ とすると $x=0, 3$

よって、 y の増減表は右ようになる。

したがって、

$x<2$, $2<x\leq 3$ で単調に減少し、
 $3\leq x$ で単調に増加する。

(3) 定義域は $x>0$ である。

$$y'=2-\frac{1}{x}=\frac{2x-1}{x} \quad y'=0 \text{ とすると } x=\frac{1}{2}$$

よって、 y の増減表は右ようになる。

したがって、

$0<x\leq \frac{1}{2}$ で単調に減少し、

$\frac{1}{2}\leq x$ で単調に増加する。

x	0	...	1	...
y'	\nearrow	-	0	+
y	0	\searrow	-1	\nearrow

x	...	0	...	2	...	3	...
y'	-	0	-	\nearrow	-	0	+
y	\searrow	0	\searrow	\nearrow	\searrow	27	\nearrow

x	0	...	$\frac{1}{2}$...
y'		-	0	+
y		\searrow	$1+\log 2$	\nearrow

2 次の関数の極値を求めよ。

(1) $y=xe^{-x}$ (2) $y=\frac{3x-1}{x^3+1}$
(3) $y=\frac{x+1}{x^2+x+1}$ (4) $y=(1-\sin x)\cos x$ ($0\leq x\leq 2\pi$)
(5) $y=|x|\sqrt{4-x}$ (6) $y=(x+2)\cdot\sqrt[3]{x^2}$

解答 (1) $x=1$ で極大値 e^{-1} (2) $x=1$ で極大値 1
(3) $x=-2$ で極小値 $-\frac{1}{3}$, $x=0$ で極大値 1
(4) $x=\frac{7}{6}\pi$ で極小値 $-\frac{3\sqrt{3}}{4}$, $x=\frac{11}{6}\pi$ で極大値 $\frac{3\sqrt{3}}{4}$
(5) $x=\frac{8}{3}$ で極大値 $\frac{16\sqrt{3}}{9}$, $x=0$ で極小値 0
(6) $x=-\frac{4}{5}$ で極大値 $\frac{12\sqrt[3]{10}}{25}$, $x=0$ で極小値 0

解説

(1) $y'=e^{-x}-xe^{-x}=e^{-x}(1-x)$

$y'=0$ とすると $x=1$

増減表は右ようになる。

よって $x=1$ で極大値 e^{-1}

(2) $x^3+1=(x+1)(x^2-x+1)$ であるから、定義域は

$$y'=\frac{3(x^3+1)-(3x-1)\cdot 3x^2}{(x^3+1)^2}=\frac{-3(2x^3-x^2-1)}{(x^3+1)^2}$$

$$=\frac{-3(x-1)(2x^2+x+1)}{(x^3+1)^2}$$

$y'=0$ とすると $x=1$

増減表は右ようになる。

よって $x=1$ で極大値 1

(3) $y'=\frac{x^2+x+1-(x+1)(2x+1)}{(x^2+x+1)^2}=-\frac{x(x+2)}{(x^2+x+1)^2}$

$y'=0$ とすると $x=-2, 0$

増減表は右ようになる。

よって $x=-2$ で極小値 $-\frac{1}{3}$, $x=0$ で極大値 1

(4) $y'=-\cos x\cdot\cos x+(1-\sin x)(-\sin x)=-1+\sin^2 x-\sin x+\sin^2 x$

$$=2\sin^2 x-\sin x-1=(\sin x-1)(2\sin x+1)$$

$0\leq x\leq 2\pi$ の範囲で $y'=0$ を解くと

$$\sin x-1=0 \text{ から } x=\frac{\pi}{2}, \quad 2\sin x+1=0 \text{ から } x=\frac{7}{6}\pi, \frac{11}{6}\pi$$

増減表は次のようになる。

x	0	...	$\frac{\pi}{2}$...	$\frac{7}{6}\pi$...	$\frac{11}{6}\pi$...	2π
y'		-	0	-	0	+	0	-	
y	1	\searrow	0	\searrow	極小	\nearrow	極大	\searrow	1

$$x=\frac{7}{6}\pi \text{ で極小値 } -\frac{3\sqrt{3}}{4}, \quad x=\frac{11}{6}\pi \text{ で極大値 } \frac{3\sqrt{3}}{4}$$

(5) 定義域は、 $4-x\geq 0$ から $x\leq 4$

$0\leq x\leq 4$ のとき、 $y=x\sqrt{4-x}$ であるから、 $0<x<4$ では

$$y'=\sqrt{4-x}-\frac{x}{2\sqrt{4-x}}=\frac{8-3x}{2\sqrt{4-x}}$$

この範囲で $y'=0$ となる x の値は $x=\frac{8}{3}$

$x<0$ のとき $y=-x\sqrt{4-x}$

ゆえに、 $x<0$ では $y'=-\frac{8-3x}{2\sqrt{4-x}}<0$

関数 $y=|x|\sqrt{4-x}$ は $x=0, 4$ で微分可能ではない。増減表は右ようになる。

よって $x=\frac{8}{3}$ で極大値 $\frac{8}{3}\sqrt{\frac{4}{3}}=\frac{16\sqrt{3}}{9}$, $x=0$ で極小値 0

(6) $y'=\sqrt[3]{x^2}+(x+2)\cdot\frac{2}{3}x^{-\frac{1}{3}}=\frac{1}{3\sqrt[3]{x}}(3x+2x+4)=\frac{5x+4}{3\sqrt[3]{x}}$

x	...	1	...
y'	+	0	-
y	\nearrow	極大	\searrow

$$x\neq -1$$

x	...	-1	...	1	...
y'	+	\nearrow	+	0	-
y	\nearrow	\nearrow	\nearrow	極大	\searrow

x	...	-2	...	0	...
y'	-	0	+	0	-
y	\searrow	極小	\nearrow	極大	\searrow

x	...	0	...	$\frac{8}{3}$...	4
y'	-	\nearrow	+	0	-	\nearrow
y	\searrow	極小	\nearrow	極大	\searrow	0

()組()番 名前()

$y'=0$ とすると $x=-\frac{4}{5}$

関数 $y=(x+2)\cdot\sqrt[3]{x^2}$ は $x=0$ で微分可能ではない。増減表は右ようになる。

よって $x=-\frac{4}{5}$ で極大値 $\frac{6}{5}\cdot\sqrt[3]{\frac{16}{25}}=\frac{12\sqrt[3]{10}}{25}$,

$x=0$ で極小値 0

x	...	$-\frac{4}{5}$...	0	...
y'	+	0	-	\nearrow	+
y	\nearrow	極大	\searrow	極小	\nearrow

3 関数 $f(x)=\frac{e^{kx}}{x^2+1}$ (k は定数) について

(1) $f(x)$ が $x=-2$ で極値をとるとき、 k の値を求めよ。

(2) $f(x)$ が極値をもつとき、 k のとりうる値の範囲を求めよ。

解答 (1) $k=-\frac{4}{5}$ (2) $-1<k<1$

解説

$$f'(x)=\frac{ke^{kx}(x^2+1)-e^{kx}\cdot 2x}{(x^2+1)^2}=\frac{e^{kx}(kx^2-2x+k)}{(x^2+1)^2}$$

$f'(x)=0$ とすると、 $e^{kx}>0$, $x^2+1>0$ から $kx^2-2x+k=0$

$g(x)=kx^2-2x+k$ とする。

(1) $f(x)$ が $x=-2$ で極値をとるとき $g(-2)=0$

ここで $g(-2)=4k+4+k=5k+4$ よって、 $5k+4=0$ から $k=-\frac{4}{5}$

このとき $g(x)=-\frac{4}{5}x^2-2x-\frac{4}{5}=-\frac{2}{5}(x+2)(2x+1)$

$g(x)=0$ すなわち $f'(x)=0$ を満たす x の値は $x=-2, -\frac{1}{2}$

$\frac{e^{kx}}{(x^2+1)^2}>0$ であるから、 $f(x)$ の増減表は右

のようになり、 $f(x)$ は $x=-2$ で極小となる。

よって $k=-\frac{4}{5}$

x	...	-2	...	$-\frac{1}{2}$...
$f'(x)$	-	0	+	0	-
$f(x)$	\searrow	極小	\nearrow	極大	\searrow

(2) $f(x)$ が極値をもつとき、 $f'(x)=0$ すなわち $g(x)=0$ となる x の値 c があり、 $x=c$ の前後で $g(x)$ の符号が変わる。

[1] $k=0$ のとき $g(x)=0$ とすると、 $-2x=0$ から $x=0$

$g(x)$ の符号は $x=0$ の前後で正から負に変わるから、 $f(x)$ は極値をもつ。

[2] $k\neq 0$ のとき 2 次方程式 $g(x)=0$ の判別式 D について $D>0$

$$\frac{D}{4}=(-1)^2-k\cdot k=-(k+1)(k-1) \text{ であるから } (k+1)(k-1)<0$$

$k\neq 0$ であるから $-1<k<0, 0<k<1$

このとき、 $g(x)$ の符号は $x=c$ の前後で変わるから、 $f(x)$ は極値をもつ。

以上から、求める k の値の範囲は $-1<k<1$

4 関数 $f(x)=\frac{ax^2+bx+c}{x^2+2}$ は $x=-2$ で極小値 $\frac{1}{2}$, $x=1$ で極大値 2 をとる。このとき、

定数 a, b, c の値を求めよ。

解答 $a=1, b=2, c=3$

解説

$$f'(x) = \frac{(2ax+b)(x^2+2) - (ax^2+bx+c) \cdot 2x}{(x^2+2)^2} = \frac{-bx^2 + (4a-2c)x + 2b}{(x^2+2)^2}$$

$$x = -2 \text{ で極小値 } \frac{1}{2} \text{ をとるから } f(-2) = \frac{1}{2}, f'(-2) = 0$$

$$x = 1 \text{ で極大値 } 2 \text{ をとるから } f(1) = 2, f'(1) = 0$$

$$f(-2) = \frac{1}{2} \text{ から } 4a - 2b + c = 3 \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$f(1) = 2 \text{ から } a + b + c = 6 \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

$$f'(-2) = 0, f'(1) = 0 \text{ から } 4a + b - 2c = 0 \quad \cdots \cdots \textcircled{3}$$

$$\textcircled{1} \sim \textcircled{3} \text{ を解いて } a = 1, b = 2, c = 3$$

$$\text{逆に, } a = 1, b = 2, c = 3 \text{ のとき } f(x) = \frac{x^2 + 2x + 3}{x^2 + 2} \quad \cdots \cdots \textcircled{4}$$

$$f'(x) = \frac{-2x^2 - 2x + 4}{(x^2 + 2)^2} = \frac{-2(x+2)(x-1)}{(x^2 + 2)^2}$$

$$f'(x) = 0 \text{ とすると } x = -2, 1$$

関数④の増減表は右のようになり、条件を満たす。

$$\text{よって } a = 1, b = 2, c = 3$$

x	\cdots	-2	\cdots	1	\cdots
$f'(x)$	$-$	0	$+$	0	$-$
$f(x)$	\searrow	極小 $\frac{1}{2}$	\nearrow	極大 2	\searrow

5 次の関数の最大値、最小値を求めよ。(1), (2) では $0 \leq x \leq 2\pi$ とする。

$$(1) y = \sin 2x + 2\sin x$$

$$(2) y = \sin x + (1-x)\cos x$$

$$(3) y = x + \sqrt{1-4x^2}$$

$$(4) y = (x^2-1)e^x \quad (-1 \leq x \leq 2)$$

$$\text{[解答] } (1) x = \frac{\pi}{3} \text{ で最大値 } \frac{3\sqrt{3}}{2}, x = \frac{5}{3}\pi \text{ で最小値 } -\frac{3\sqrt{3}}{2}$$

$$(2) x = \pi \text{ で最大値 } \pi - 1, x = 2\pi \text{ で最小値 } 1 - 2\pi$$

$$(3) x = \frac{\sqrt{5}}{10} \text{ で最大値 } \frac{\sqrt{5}}{2}, x = -\frac{1}{2} \text{ で最小値 } -\frac{1}{2}$$

$$(4) x = 2 \text{ で最大値 } 3e^2, x = \sqrt{2} - 1 \text{ で最小値 } 2(1 - \sqrt{2})e^{\sqrt{2}-1}$$

[解説]

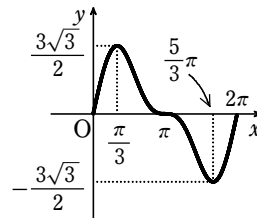
$$(1) y' = 2\cos 2x + 2\cos x = 2(2\cos^2 x - 1) + 2\cos x = 2(2\cos^2 x + \cos x - 1) \\ = 2(\cos x + 1)(2\cos x - 1)$$

$0 \leq x \leq 2\pi$ の範囲で $y' = 0$ となる x の値は

$$\cos x = -1 \text{ から } x = \pi, \quad \cos x = \frac{1}{2} \text{ から } x = \frac{\pi}{3}, \frac{5}{3}\pi$$

$0 \leq x \leq 2\pi$ における y の増減表は次のようになる。

x	0	\cdots	$\frac{\pi}{3}$	\cdots	π	\cdots	$\frac{5}{3}\pi$	\cdots	2π
y'		$+$	0	$-$	0	$-$	0	$+$	
y	0	\nearrow	極大 $\frac{3\sqrt{3}}{2}$	\searrow	0	\searrow	極小 $-\frac{3\sqrt{3}}{2}$	\nearrow	0



$$\text{よって } x = \frac{\pi}{3} \text{ で最大値 } \frac{3\sqrt{3}}{2}, x = \frac{5}{3}\pi \text{ で最小値 } -\frac{3\sqrt{3}}{2}$$

$$(2) y' = \cos x - \cos x + (1-x)(-\sin x) = (x-1)\sin x$$

$0 \leq x \leq 2\pi$ の範囲で $y' = 0$ となる x の値は

$$x - 1 = 0 \text{ から } x = 1, \sin x = 0 \text{ から } x = 0, \pi, 2\pi$$

$0 \leq x \leq 2\pi$ における y の増減表は次のようになる。

x	0	\cdots	1	\cdots	π	\cdots	2π
y'		$-$	0	$+$	0	$-$	
y	1	\searrow	極小 $\sin 1$	\nearrow	極大 $\pi - 1$	\searrow	$1 - 2\pi$

ここで $1 < \pi - 1, \sin 1 > 0 > 1 - 2\pi$

よって $x = \pi$ で最大値 $\pi - 1, x = 2\pi$ で最小値 $1 - 2\pi$

$$(3) \text{ 定義域は, } 1 - 4x^2 \geq 0 \text{ から } -\frac{1}{2} \leq x \leq \frac{1}{2} \quad \cdots \cdots \textcircled{1}$$

$$-\frac{1}{2} < x < \frac{1}{2} \text{ のとき } y' = 1 + \frac{-8x}{2\sqrt{1-4x^2}} = \frac{\sqrt{1-4x^2} - 4x}{\sqrt{1-4x^2}}$$

$$y' = 0 \text{ とすると } \sqrt{1-4x^2} = 4x \quad \cdots \cdots \textcircled{2}$$

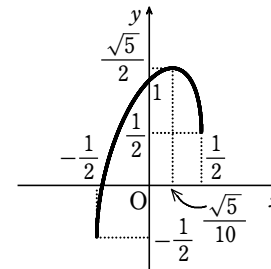
両辺を平方して整理すると $20x^2 = 1$

$$\text{これを解いて } x = \pm \frac{1}{2\sqrt{5}} = \pm \frac{\sqrt{5}}{10}$$

$$\textcircled{2} \text{ より, } x \geq 0 \text{ であるから } x = \frac{\sqrt{5}}{10}$$

① における y の増減表は次のようになる。

x	$-\frac{1}{2}$	\cdots	$\frac{\sqrt{5}}{10}$	\cdots	$\frac{1}{2}$
y'	\nearrow	$+$	0	$-$	\searrow
y	$-\frac{1}{2}$	\nearrow	極大 $\frac{\sqrt{5}}{2}$	\searrow	$\frac{1}{2}$



$$\text{よって } x = \frac{\sqrt{5}}{10} \text{ で最大値 } \frac{\sqrt{5}}{2}, x = -\frac{1}{2} \text{ で最小値 } -\frac{1}{2}$$

$$(4) y' = 2xe^x + (x^2 - 1)e^x = (x^2 + 2x - 1)e^x$$

$$y' = 0 \text{ とすると, } e^x > 0 \text{ であるから } x^2 + 2x - 1 = 0$$

$$\text{これを解いて } x = -1 \pm \sqrt{2}$$

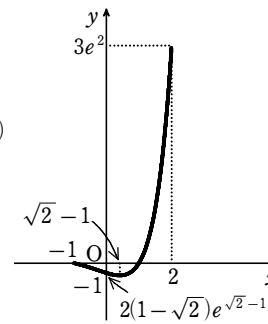
$$-1 \leq x \leq 2 \text{ であるから } x = -1 + \sqrt{2}$$

$$\text{このとき } x^2 - 1 = -2x = -2(-1 + \sqrt{2}) = 2(1 - \sqrt{2})$$

$-1 \leq x \leq 2$ における y の増減表は次のようになる。

x	-1	\cdots	$\sqrt{2} - 1$	\cdots	2
y'		$-$	0	$+$	
y	0	\searrow	極小 $2(1 - \sqrt{2})e^{\sqrt{2}-1}$	\nearrow	$3e^2$

$$\text{よって } x = 2 \text{ で最大値 } 3e^2, x = \sqrt{2} - 1 \text{ で最小値 } 2(1 - \sqrt{2})e^{\sqrt{2}-1}$$



6 次の関数に最大値、最小値があれば、それを求めよ。

$$(1) y = \frac{x^2 - 3x}{x^2 + 3}$$

$$(2) y = e^{-x} + x - 1$$

$$\text{[解答] } (1) x = -3 \text{ で最大値 } \frac{3}{2}, x = 1 \text{ で最小値 } -\frac{1}{2}$$

$$(2) x = 0 \text{ で最小値 } 0, \text{ 最大値はない}$$

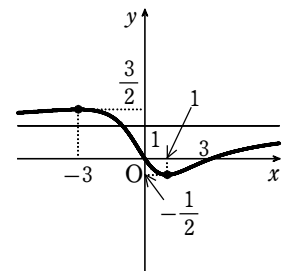
[解説]

$$(1) y' = \frac{(2x-3)(x^2+3) - (x^2-3x) \cdot 2x}{(x^2+3)^2} = \frac{3x^2+6x-9}{(x^2+3)^2} = \frac{3(x+3)(x-1)}{(x^2+3)^2}$$

$$y' = 0 \text{ とすると } x = -3, 1$$

y の増減表は次のようになる。

x	\cdots	-3	\cdots	1	\cdots
y'	$+$	0	$-$	0	$+$
y	\nearrow	極大 $\frac{3}{2}$	\searrow	極小 $-\frac{1}{2}$	\nearrow



$$\text{また } \lim_{x \rightarrow \infty} y = \lim_{x \rightarrow \infty} \frac{1 - \frac{3}{x}}{1 + \frac{3}{x^2}} = 1 \quad \text{同様にして} \quad \lim_{x \rightarrow -\infty} y = 1$$

$$\text{ゆえに } x = -3 \text{ で最大値 } \frac{3}{2}, x = 1 \text{ で最小値 } -\frac{1}{2}$$

$$(2) y' = -e^{-x} + 1$$

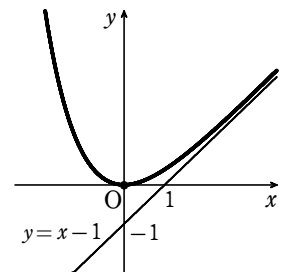
$$y' = 0 \text{ とすると } e^{-x} = 1 \quad \text{よって } x = 0$$

y の増減表は次のようになる。

x	\cdots	0	\cdots
y'	$-$	0	$+$
y	\searrow	極小 0	\nearrow

$$\text{また } \lim_{x \rightarrow \infty} y = \lim_{x \rightarrow \infty} \left(\frac{1}{e^x} + x - 1 \right) = \infty$$

$$\text{ゆえに } x = 0 \text{ で最小値 } 0, \text{ 最大値はない}$$



7 関数 $f(x) = \frac{a \sin x}{\cos x + 2}$ ($0 \leq x \leq \pi$) の最大値が $\sqrt{3}$ となるように定数 a の値を定めよ。

$$\text{[解答] } a = 3$$

[解説]

$$f'(x) = \frac{a\{\cos x(\cos x + 2) - \sin x(-\sin x)\}}{(\cos x + 2)^2} = \frac{a(2\cos x + 1)}{(\cos x + 2)^2}$$

[1] $a = 0$ のとき

常に $f(x) = 0$ であるから、最大値が $\sqrt{3}$ になることはない。

よって、不適。

[2] $a > 0$ のとき

$$f'(x) = 0 \text{ とすると } \cos x = -\frac{1}{2}$$

$$0 \leq x \leq \pi \text{ であるから } x = \frac{2}{3}\pi$$

$0 \leq x \leq \pi$ における $f(x)$ の増減表は右のようになり、

$$x = \frac{2}{3}\pi \text{ で極大かつ最大となる。}$$

x	0	\cdots	$\frac{2}{3}\pi$	\cdots	π
$f'(x)$		$+$	0	$-$	
$f(x)$	0	\nearrow	極大	\searrow	0

$$\text{ゆえに, 最大値は } f\left(\frac{2}{3}\pi\right) = \frac{\frac{\sqrt{3}}{2}a}{-\frac{1}{2}+2} = \frac{\sqrt{3}}{3}a$$

$$\text{よって } \frac{\sqrt{3}}{3}a = \sqrt{3}$$

$$\text{したがって } a = 3 \quad \text{これは } a > 0 \text{ を満たす。}$$

[3] $a < 0$ のとき
 $0 \leq x \leq \pi$ における $f(x)$ の増減表は右のようになる。
 ゆえに、最大値は $f(0) = f(\pi) = 0$
 よって、不適。
 [1]～[3] から $a = 3$

x	0	...	$\frac{2}{3}\pi$...	π
$f'(x)$		−	0	+	
$f(x)$	0	↘	極小	↗	0

[8] 関数 $f(x) = \frac{x+a}{x^2+1}$ ($a > 0$) について、次のものを求めよ。

- $f'(x) = 0$ となる x の値
- (1) で求めた x の値を α , β ($\alpha < \beta$) とするとき、 β と 1 の大小関係
- $0 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の最大値が 1 であるとき、 a の値

解答 (1) $x = -a \pm \sqrt{a^2 + 1}$ (2) $\beta < 1$ (3) $a = \frac{3}{4}$

解説

$$(1) f'(x) = \frac{x^2 + 1 - (x+a) \cdot 2x}{(x^2 + 1)^2} = -\frac{x^2 + 2ax - 1}{(x^2 + 1)^2}$$

$$f'(x) = 0 \text{ とすると } x^2 + 2ax - 1 = 0$$

$$\text{これを解いて } x = -a \pm \sqrt{a^2 + 1}$$

$$(2) \alpha < \beta \text{ であるから } \beta = -a + \sqrt{a^2 + 1}$$

$$\text{よって } \beta - 1 = -a - 1 + \sqrt{a^2 + 1} = \frac{(a^2 + 1) - (a + 1)^2}{\sqrt{a^2 + 1} + a + 1} = \frac{-2a}{\sqrt{a^2 + 1} + a + 1}$$

$$a > 0 \text{ であるから } \beta - 1 < 0 \quad \text{したがって} \quad \beta < 1$$

$$(3) f'(x) = -\frac{(x-\alpha)(x-\beta)}{(x^2+1)^2} \text{ であり}$$

$$\alpha = -a - \sqrt{a^2 + 1} < 0$$

また、(2) より $0 < \beta < 1$ であるから、
 $0 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の増減表は右のようになる。

ゆえに、 $0 \leq x \leq 1$ の範囲において、 $f(x)$ は $x = \beta$ のとき極大かつ最大となり、その値

$$\text{は } f(\beta) = \frac{\beta + a}{\beta^2 + 1} \quad \text{最大値は 1 であるから} \quad \frac{\beta + a}{\beta^2 + 1} = 1$$

$$\text{分母を払って } \beta + a = \beta^2 + 1$$

$$\text{よって } a = \beta^2 - \beta + 1 \quad \cdots \cdots \text{①}$$

$$\beta \text{ は } x^2 + 2ax - 1 = 0 \text{ の解であるから } \beta^2 + 2a\beta - 1 = 0$$

$$\text{これに ① を代入して整理すると } 2\beta^3 - \beta^2 + 2\beta - 1 = 0$$

$$\text{ゆえに } (\beta^2 + 1)(2\beta - 1) = 0 \quad \beta^2 + 1 > 0 \text{ であるから } \beta = \frac{1}{2}$$

$$\text{① に代入して } a = \left(\frac{1}{2}\right)^2 - \frac{1}{2} + 1 = \frac{3}{4}$$

[9] 3 点 O (0, 0), A $\left(\frac{1}{2}, 0\right)$, P (cos θ , sin θ) と点 Q が、条件 OQ = AQ = PQ を満たす。

ただし、 $0 < \theta < \pi$ とする。

- 点 Q の座標を求めよ。
- 点 Q の y 座標の最小値とそのときの θ の値を求めよ。

解答 (1) $\left(\frac{1}{4}, \frac{2 - \cos \theta}{4 \sin \theta}\right)$ (2) $\theta = \frac{\pi}{3}$ のとき最小値 $\frac{\sqrt{3}}{4}$

解説

(1) OQ = AQ より、点 Q は線分 OA の垂直二等分線

上にあるから、Q $\left(\frac{1}{4}, y\right)$ とおける。

OQ = PQ より OQ² = PQ² であるから

$$\left(\frac{1}{4}\right)^2 + y^2 = \left(\frac{1}{4} - \cos \theta\right)^2 + (y - \sin \theta)^2$$

$$\text{整理して } 2y \sin \theta = 1 - \frac{1}{2} \cos \theta$$

$$0 < \theta < \pi \text{ から } \sin \theta \neq 0$$

$$\text{よって } y = \frac{2 - \cos \theta}{4 \sin \theta} \quad \cdots \cdots \text{①} \quad \text{ゆえに} \quad Q\left(\frac{1}{4}, \frac{2 - \cos \theta}{4 \sin \theta}\right)$$

(2) ① から

$$\frac{dy}{d\theta} = \frac{1}{4} \cdot \frac{\sin \theta \cdot \sin \theta - (2 - \cos \theta) \cdot \cos \theta}{\sin^2 \theta} = \frac{1 - 2 \cos \theta}{4 \sin^2 \theta}$$

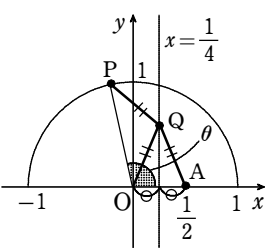
$$\frac{dy}{d\theta} = 0 \text{ とすると } \cos \theta = \frac{1}{2}$$

$$0 < \theta < \pi \text{ から } \theta = \frac{\pi}{3}$$

$0 < \theta < \pi$ における y の増減表は右のようになるから、 y は

$$\theta = \frac{\pi}{3} \text{ のとき最小値 } \frac{\sqrt{3}}{4}$$

をとる。



θ	0	...	$\frac{\pi}{3}$...	π
$\frac{dy}{d\theta}$		−	0	+	
y		↘	極小 $\frac{\sqrt{3}}{4}$	↗	

[10] 半径 1 の球に、側面と底面で外接する直円錐を考える。この直円錐の体積が最小となるとき、底面の半径と高さの比を求めよ。

解答 $\sqrt{2} : 4$

解説

直円錐の高さを x 、底面の半径を r 、体積を V とすると、 $x > 2$

$$\text{であり} \quad V = \frac{1}{3} \pi r^2 x \quad \cdots \cdots \text{①}$$

球の中心を O として、直円錐をその頂点と底面の円の中心を通る平面で切ったとき、切り口の三角形 ABC、および球と $\triangle ABC$ との接点 D、E を右の図のように定める。

$\triangle ABE \sim \triangle AOD$ であるから $AE : AD = BE : OD$

$$\text{すなわち } x : \sqrt{(x-1)^2 - 1^2} = r : 1$$

$$\text{よって } r = \frac{x}{\sqrt{x^2 - 2x}} \quad \cdots \cdots \text{②}$$

$$\text{② を ① に代入して } V = \frac{\pi}{3} \cdot \left(\frac{x}{\sqrt{x^2 - 2x}}\right)^2 \cdot x = \frac{\pi}{3} \cdot \frac{x^2}{x-2}$$

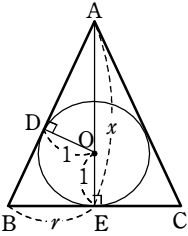
$$\text{よって } \frac{dV}{dx} = \frac{\pi}{3} \cdot \frac{2x(x-2) - x^2 \cdot 1}{(x-2)^2} = \frac{\pi}{3} \cdot \frac{x(x-4)}{(x-2)^2}$$

$$\frac{dV}{dx} = 0 \text{ とすると、} x > 2 \text{ であるから } x = 4$$

$x > 2$ のとき V の増減表は右のようになり、体積 V は $x = 4$

のとき最小となる。このとき、② から $r = \sqrt{2}$

ゆえに、求める底面の半径と高さの比は $r : x = \sqrt{2} : 4$



x	2	...	4	...
$\frac{dV}{dx}$		−	0	+
V		↘	極小	↗